

チャレンジだより

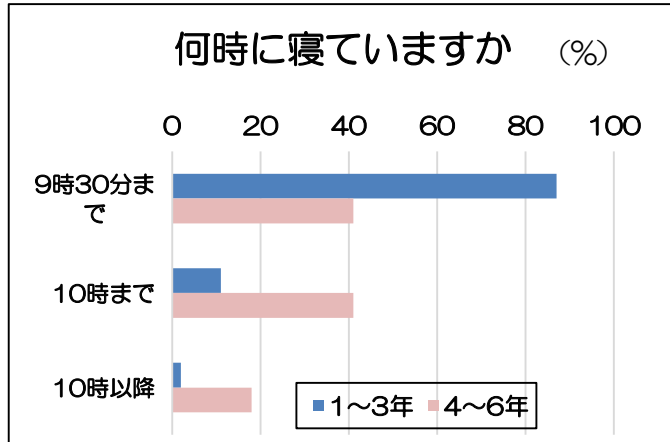
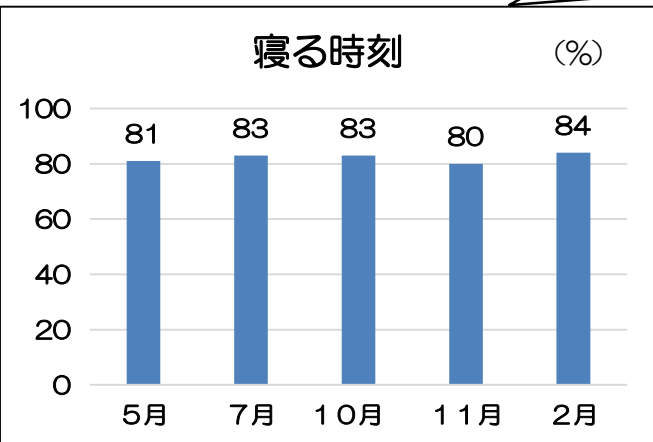
令和2年 2月 28日 神石小学校



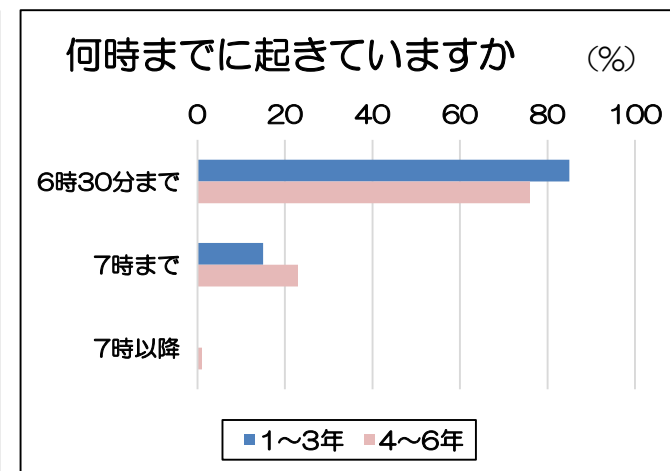
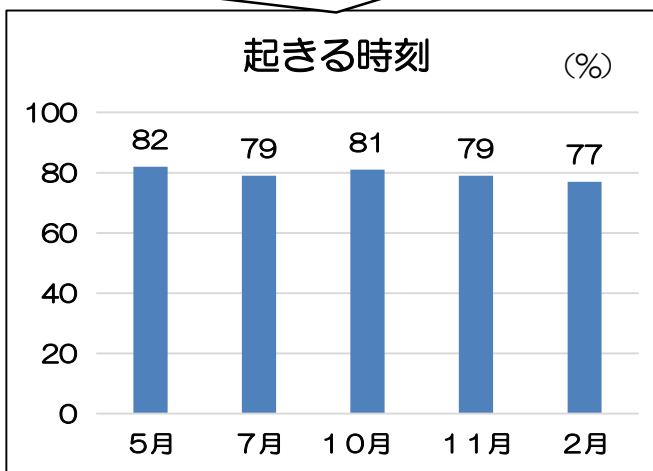
今年度最後の「生活チャレンジ週間」(2月)が終わりました。保護者のみなさまには1年間にわたり、ご協力・ご支援をいただき、大変ありがとうございました。

昨年度に続き、本校の課題でありました「起床・就寝時刻」「テレビ・ゲームの時間」の3項目を中心に指導してまいりました。特に、メディアの時間については、長時間になる児童もみられます。小学校の段階から、早寝早起きの習慣、メディアの上手なつきあい方が大切です。来年度も基本的な生活習慣の定着に向けて、ご家庭との連携を一層充実していきたいと思っております。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

**寝る時刻(低:9時30分 高:10時まで)
2月は目標を意識する児童が増えました!**

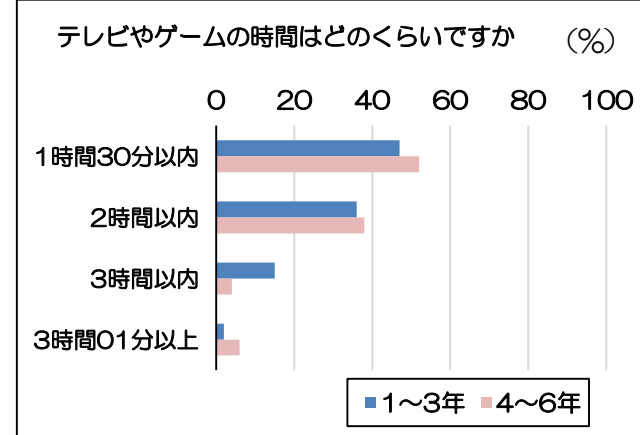
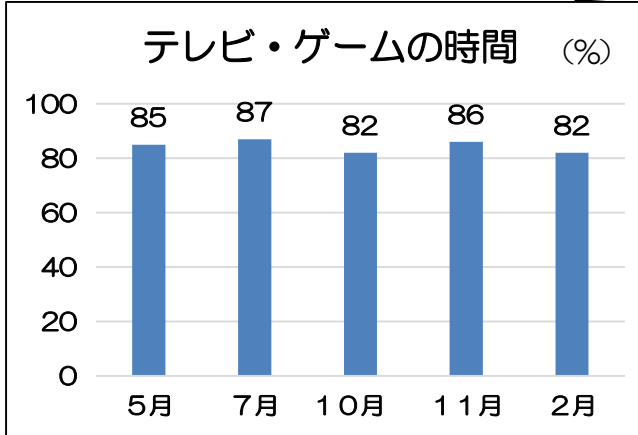


**起きる時刻(全員6時30分まで)
6時30分過ぎて起きる児童が目立ちます...**



テレビやゲームの時間(2時間以内)

1時間30分以内が半数です。しかしながら、3時間以上も2割...



子どもと話し合おう~生活習慣とメディアの関係

2月25日に「学校保健委員会」を開催し、本校の生活習慣についての取組を報告しました。その中で、「メディアの長時間の利用は生活習慣と関連して、危険度が高い」ということや、「大人が危機感をもって、きまりを守りきらせる必要があるのではないか」ということを校医の先生方から、ご助言いただきました。そのためには、体や心に与える科学的な根拠をもとに指導することはもちろんですが、大人が子どもの事情をよく知ることも大切です。学校でも家庭でも私たち大人がよく理解し、子どもたちに寄り添った指導をしていけたらよいですね。



スマホ世代の子どもたち 最新事情 石川 結貴 ⑥

注意より まず知る努力

この記事は、スマホのSNS利用を例に出されていますが、ゲーム同士の通信なども同じことが言えます。大人が子どものしていることをよく知った上で見守っていききたいですね。

※中国新聞(二月二十五日付)

SNS利用の危険性について、大人には少なからず苦手意識があります。使用の方からすると、そもそも使っていないと思わない。自分が知らないから、子どもに何を教えるべきか困ってしまう。取材の場では「知らない」と聞きますが、「知らない」「まだ」といって知らず知らずのうちに利用している。また、利用規約には会員登録された個人情報の取り扱いに関する記述もあります。自分のプライバシーがSNSの各社にどう利用されているのか、親子で考えを分かち合えるかもしれません。「危ないからダメ」と口先で注意するよりも、正当な理由のもとに子どもと話し合う方が効果的です。そのために、まずは大人側の「知る努力」が大切ではないでしょうか。(ジャーナリスト)

例えはSNSの利用規約です。サービスを提供する会社はユーザー(利用者)に対し、一定のルールを設けています。このうち「年齢制限」では、ツイッターやフェイスブック、インスタグラムなどの主要SNSが「利用できるのは13歳以上」と規定しています。仮に小学生がツイッターを使っているならば、明らかな利用規約違反。つまり、「違反行為だから利用してはいけない」と明確に伝えることができます。

また、利用規約には会員登録された個人情報の取り扱いに関する記述もあります。自分のプライバシーがSNSの各社にどう利用されているのか、親子で考えを分かち合えるかもしれません。「危ないからダメ」と口先で注意するよりも、正当な理由のもとに子どもと話し合う方が効果的です。そのために、まずは大人側の「知る努力」が大切ではないでしょうか。(ジャーナリスト)

イラスト・大野太郎

この記事は、スマホのSNS利用を例に出されていますが、ゲーム同士の通信なども同じことが言えます。大人が子どものしていることをよく知った上で見守っていききたいですね。